

「消費税増税中止」は最大の景気対策！

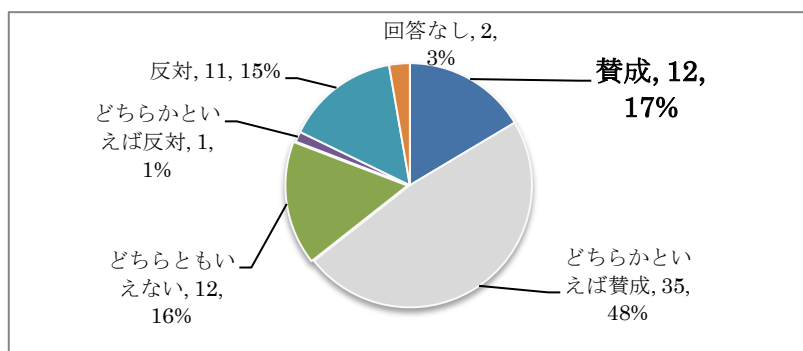
「消費税を増税する」候補の当選は17% (選挙区)

参議院選挙で自民党が65議席を獲得し、『自民圧勝』と報道されています。しかし国民は消費税増税や憲法改正、原発再稼働、TPP、米軍基地を認めたわけではありません。衆参のねじれは解消しても、国民の願いと国会の議席はねじれたまま。国民の暮らしをよくすることこそ政治の役割です。

消費税を増税すれば、史上最大の増税・総額13.5兆円⁷が私たちの暮らしにのしかかります。また今の景気では、増税しても国の税収は減る一方で、財政はさらに深刻化します。そのため消費税が「必要」という経済学者や安倍首相のブレーンを務める人物でさえ、「不景気の今は増税すべきでない。自殺行為だ」と言いはじめています。民意は「増税中止」を求めています。

国会に「増税中止」の声届ける 署名にご協力を！

安倍政権は今秋、景気動向を踏まえて実際に引き上げるかどうかを判断する方針です。参議院選の当選者(選挙区)で「予定通りの増税に賛成」と言っているのは12人・17%のみです。他の当選議員は反対か、条件付き賛成です。「今、増税するなどんでもない」という声を署名とともに届け、何としても中止させましょう。



朝日新聞・東京大学谷口研究室が共同調査した候補者アンケート「消費税増税は予定通り」の可否から、当選者の回答を廃止各界連事務局が抽出・作成

＜消費税上がれば経済失速＞

「参議院選挙は与党の圧勝に終わったが、私は、選挙後の経済政策がおろそかになってしまうことを懸念している。確かにアベノミクスによって、株価は上昇したが、实体经济は、底堅くなりつつあるものの、好調とまではいえない状況。さらに来年4月には、消費税が上がる見通し。本格的な景気回復が起こらない中で消費税だけが上がってしまうと、経済は間違いなく失速する。参院選後の経済の行方には注意を払わなければならない。

(中略)

景気回復が堅調ではないし、全体の給料も伸びていない。できれば消費税増税はもう少し先延ばしすべき。」

経営コンサルタントの小宮一慶氏

【東洋経済オンライン7/22付より・要旨】



消費税廃止各界連絡会

東京都豊島区目白2-36-13 全国商工団体連合会気付 取扱団体()
TEL 03-3987-4391 ホームページ <http://shz-haishi.jp>

2013年7月・8月